

科目名	コマース研究ゼミナールⅣ	科目コード	1212	単位数	2
担当者名	堤 悦子	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

●授業のねらい

ゼミⅣは、商学部商学科を卒業する年次を迎えたゼミ生が、卒論を書く指導のために履修します。従って、商学部の学生としての商学関連科目全体の理解が前提になって、より深堀ができることを狙って開講します。

●到達目標

- ①自身のキャリアを設計できる力を養うこと
- ②自身のキャリア設定に関して、他人にその思いを伝えることができるようになる力を養うこと
- ③論文作成を目標にします。

●授業内容

- 1週目 論文のテーマを決める
- 2週目 例：日本企業の凋落とアメリカ労働市場の流動性から学ぶこと
- 3週目 例：「インターンシップ」からみたグーグル社の経営
- 4週目 例：キャリア開発とガラスの天井
- 5週目 例：働き方改革に関する諸問題
- 6週目 例：新型コロナウイルス禍における働き方
- 7週目 例：日本の労働市場と問題点
- 男女共同参画
- 8週目 例：労働者の納得性と基盤にある民主主義
- 9週目 例：今後の日本の労働市場
- ジョブ型への転換と問題点
- 10週目 例：北海道の労働市場
- 派遣労働各社およびその事業の拡大：キャリアバンク社・エイジェック社
- 11週目 北海道の優れた企業
- 例：アミノアップ社・あらた（旧ダイカ）
- 12週目 北海道の企業：北海道新聞社
- 大手新聞社と地方新聞社のすみわけ。これからの新聞社のありかた
- 13週目 北海道の企業：きのとや
- 社長の成功の意欲と事業の発展
- 14週目 北海道の企業：まちむら農場
- 遅れてしまった北海道農業の中の優れた人的資源管理
- 15週目 北海道と本州の歴史的比較研究
- 16週目 自身が論文を書いた企業への訪問インタビュー（不可能な場合は、自身の発表とディスカッションに替える）

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

最終的に卒業論文を書きますので、自身で積極的に準備をしてください。適宜質問に応じます。上記は担当教員が出した例にすぎません。自身が問題点の導出から、展開・検討、結論の章立てを進めてください。

●成績評価の方法・基準

卒業論文を書くことを目指しますので、就職活動やその準備、研究者としての論文執筆など、様々な対応をした結果を総合的に判断します。

●履修上の留意点

希望があれば、3年生用のアバターづくりに参加することで替えることも許可します

●課題に対するフィードバックの方法

先輩として見本を示すことができる優れたプレゼンテーションを心掛けてください。論文やレポートは、添削して返却します。

●テキスト

『北海道の企業3』北海道大学出版会

●参考書

『北東日本の地域経済』八朔社

●更新日付

2022/02/03 04:36